



亞細亞野

機密第 四八七號

昭和六年九月二日

在 安 東

領事 米 澤 菊

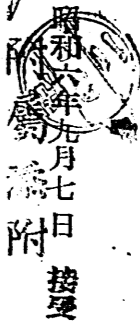


外務大臣男爵幣原喜重郎殿

鴨綠江沿岸中國人動搖ニ關スル件

本件ニ關シテハ客月二十五日附機密第四七九號拙信ヲ以テ及報告置タル處其ノ後入手セル情報ニ依レハ上流地方ニ於ケル謠言蜚語ハ遂ニ下流大東溝地方ニモ波及シ中國官憲ハ相當ニ緊張シ移住鮮人ノ鮮地ヨリノ渡來防止朝鮮側ヨリノ一般渡江者ノ阻止其ノ他自衛團組織警戒等ニ依リ人心動搖ノ兆アル趣ナリシヲ以テ安東王縣長ト協力之

在安東日本領事館



附 接

BII

S 1.1.1.0 - 17 1991 ( 0041

カ鎮靜ニ努メタル結果大体既ニ平靜ニ歸シタルカ今般上流長白縣長ヨリ既報客月廿一日附本件謠言ノ取締並鮮人ノ安居樂業方ニ關スル本官電照ニ對シ公文ヲ以テ延吉方面ヨリ潛入セル鮮人共産黨四十餘名カ連夜秘密會議ヲ開キ一般ノ韓僑ヲ煽動シテ種々ノ謠言ヲ流布セルヲ以テ公安各分局所長等ハ極力誤會ノ一掃ニ力メ八月十一日ニハ韓僑代表廿六人ヲ縣署ニ召集シテ韓僑ヲ驅逐スルカ如キ謠言ノ全ク無根ナルコトヲ諭シ又朝鮮語ノ佈告ヲ爲スト共ニ中國人方面モ一律曉諭シタリトテ別紙ノ通韓僑曉諭及謠言取締ノ佈告ヲ送付シ來レリ右ハ中國側ノ鮮人取締振ノ一端ヲ窺知スルヲ得ヘシト思料セララルニ付御參考迄報告申進ス

本信寫送付先 公使 北平 奉天 間島 長春 通化

在安東日本領事館

S 1.1.1.0 - 17 1992 ( 0042

快郵代電

駐安東大日本帝國領事勳睦本月二十四日准  
貴領事馬電敬悉查該縣境內日前由延吉竄  
來鮮人共產黨四十餘名在山裏各處煽惑一破韓  
僑連夜秘密會議以救國驅逐僑民為辭定於舊  
歷七月初間一齊暴動襲殺華人屆時並有解火  
青年渡江一併參加之說該縣商民鑒於前次朝鮮境  
內慘被華僑一案之前轍因之萬分恐慌晝夜不安咸  
謀自衛當派韓僑紳約卓昂奎及公安各分局所長等  
親自馳赴各區山裏地方向韓僑各戶挨戶切實曉諭  
解釋誤會並於本月十一日召集各處韓僑代表二十六人  
到縣當面詳加訓諭告以救國法無驅逐僑民之事且  
加十分保護萬勿互相猜疑誤會自滋紛擾等情並

在安東日本領事館

備具朝鮮文之佈告多張交該代表等携回按戶劃  
切開導一面後諄切曉諭華民人等對於韓僑各戶  
均須照常相處萬輕信謠傳兩相猜疑一面佈告極力  
取締謠言嚴禁造謠之人近日以來人心安定形勢已趨  
平靖地方尚安證錄准貴電相應照抄曉諭韓僑  
及取締謠言之佈告兩件覆請  
貴領事查照為荷長白縣長程潤田叩第一科科長  
章祖洪代啟

計抄送

佈告兩件

中華民國二十二年八月二十四日

S 1.1.1.0 - 17

1994

S 1.1.1.0 - 17

1993

0043

長白縣政府佈告政字第

號

爲佈告事照得韓人僑居我岸長白墾荒佃種已歷數十年之久我國官憲照約保護與華人一律待遇久已一視同仁相安無事且華民人等亦正賴爾等韓僑墾種地畝倚畀甚殷現在朝鮮境內慘殺華僑一事兩國政府已有相當辦法不日即可了結我長白官憲決無驅逐韓僑之事爾韓僑人等萬勿聽信謠傳自相驚擾致生意外事端自貽後悔爲此佈告聞全境韓僑人等一體週知爾等務須各安生業勿得經信傳聞尙有不肖之徒欺凌韓僑情事爾韓僑人等儘可逕來縣署或赴公安各局所報告本縣縣長自當一體切實保護將不肖之徒盡法懲辦決不寬縱爾韓僑人等務均照舊安居樂業可也其各遵照勿違切切此佈

中華民國二十年八月三日

在安東日本領事館

長白縣政府佈告政字第

號

爲剴切曉諭事照得謠言蜚語最足以淆惑聽聞縣境近日人心浮動謠言竊起杯弓蛇影以訛以致華民戶互相猜疑晝夜不安長此以往寔非地方人民之福且與地面治安亦大有妨碍除一面已由本政府召集各處韓僑代表到縣當面痛切開導使之確知我國決無驅逐韓僑之事一面督飭公安隊分路嚴密防範並飭令公安各局所嚴禁造謠之外爲此合行剴切曉諭聞境華戶商民人等一體知悉所有由外縣竄來之韓人等之不良份子現已嚴飭公安隊積極搜捕爾商民人等務須照舊安居樂業對於韓僑各戶尤須照常相處萬勿輕信謠傳無故猜疑自滋紛擾如有造謠生事意圖擾亂治安者無論華韓人民一經拿獲送縣

本縣長爲維持地方治安起見定當盡法嚴辦決不姑寬勿謂言之不預馬其各凜遵勿違切切此佈

中華民國二十年八月十三日

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-17

1996

0045

S 1.1.1.0-17

1995

0044



リ尙本名等ノ來滿中ニ於ケル各地ノ言動綜合スルニ大要左ノ通りナルカ別段不穩ノ言動認メラレサルモ御參考迄

記

一 吾々ハ實人社本部ヲ東京ニ設置シ一ツノ思想團體トシテ雜誌ヲ發行スル外留日鮮人若學生ヲ收容シ斯方面ニモ相當活動中ナリ  
二 鮮内ニ於ケル鮮支衝突事件ハ實地視察ノ結果同事件カ日本ノ煽動ニ依リ發生シタルカ如キ説ヲ爲スモノナルモ全ク事實無根ニシテ暴動關係者中鮮人有識階級ノ混入シ居ラサリシ點ヨリ考察スルモ明瞭ナリ然ルニ尙支那人ハ自國ノ立場ヲ有利ニ導カムカ爲メ盛ニ日本ノ煽動アリタルカ如ク宣傳シ又一部鮮人間ニ於テモ支那官憲ニ阿附シ日本ニ不利ナル言動ヲ爲スモノアルハ痛恨事ナリ

S 1.1.1.0 - 17

1999

0048

三 今般ノ調査ニ際シ特ニ感シタルコトハ在滿鮮人カ確固タル信念ニ乏シク一方ニ於テハ朝鮮獨立ヲ標榜シ或ハ之等ノ團體ヲ援助シテ反日的態度ヲ示シ居レルカ一朝不利ナル立場ニ置カルルヤ直ニ親日派ト豹變シ日本官憲ニ泣キヲ入レルト云フ醜態ヲ演ス如斯キ結果今般ノ萬寶山事件ノ如キモ起リタルモノト思フ

在滿同胞ハ行クニ處ナキ流浪ノ民ナレハ確固タル信念ノ下ニ何人ニモ便ラス不變不撓ノ精神ヲ以テ目的ニ邁進スルニ於テハ必ス活路モ開ケルト思フ

四 各地ノ中國人間ニ對日熱ノ激溢シ居ルコトモ意外トスル處ナルカ彼等ノ空氣ヨリ見テ鮮人ノ歸化ヲ認ムルニ於テハ非日熱モ緩和サレ得ルモノト認メラル

五 旅行中各所ニ於テ幣原外交ノ軟弱ヲ耳ニセルカ幣原氏ハ元來外務

S 1.1.1.0 - 17

2000

0049

畑生へ抜キノ大臣ニシテ民族的意識等ハ全然腦裡ニナク世界人類ヲ基準ニ外交政策ヲ樹テ居ルモノナレハ他ヨリ軟弱ト非難セラルルモ本人ヨリ見ルトキハ當然ノ外交方針ニシテ何等軟弱ニ非サレハ是ヲ改ムルコトナシト思フ

吾々ハ歸京後萬寶山事件ハ勿論在滿鮮人問題ノ實情ヲ在日鮮人ニ宣傳シ各地ニ於テ講演會等開催スル豫定ナルカ尙間島方面ニモ視察ノ爲旅行スル意嚮ナリ云々

0050

2001

S 1.1.1.0 - 17

0051

6

本月二十日萬寶山實地調査ヲナスヘク長春ニ來リテ先ツ日本領事館ヘ田代領事ヲ訪ヒ萬寶山ノ近況ヲ詳細聽取シ現地ヘ赴ヘク打合セタル處目下現地ヘハ高粱繁茂シ匪賊ノ跳躍激シク附近農村ニ最近數回ニ亘リ匪賊ノ襲撃ヲ受ケ部落在住民ハ恐怖ニ包レ現地出張ヲ見合ス旨頻ニ勸告シタルモ余ハ固辭シテ支那服委ニテ同志朴奉信君ト共ニ農民ノ道案内者七名ヲ同道シテ翌二十一日午前六時長春ヲ出發現地ヘト向ヒタリ、萬寶山ハ長春ヲ距ル七十支里ノ地點ニ位シ中途鮮農部落四個所四房家五戸、十响地呂家店、三戸、六响地田家四子七响四戸在住農民アリテ一々各部落ヲ訪ヒ鮮人農民ノ感想ヲ聽取シタル處悲壯ナ面ヲ以テ一律ニ曰ク、故國ヲ離レ異域滿洲ニテ生活戦線ノ第一線ニ立チ艱難辛苦ハサテヲキ支那官民ノ暴壓ヲ忍ヒツツ、僅々糊口ノ策ヲ講シ轉々流々滿洲ノ曠野ヲ彷徨シ何處ヘ永住ノ居ヲ定メ

2002

S 1.1.1.0 - 17

ルカ何故吾等ハコノ滿洲ニ來リテ如斯辛苦ヲ受ケテ居ルカ何時モ涙  
クマシキ其ノ日ノ生活ヲ續ケ居ルヲ物語ツテキタリ、余ハ自重シテ  
難關ヲ突破シ吾同胞鮮人ノ樂園地タルヘキ様御奮闘ヲ希フ旨言ヒ諭  
シ其ヨリ萬寶山ヘ到着ト共ニ在住同胞農民ニ對シ慰問ノ意ヲ表シ代  
表者金龍五、朴東租、金炳天ノ三氏ト共ニ現地ヘ實地調査ヲ爲ス  
ヘク部落ヲ出ル時長春縣公安局第二分局駐馬家嘴口第一派遣所巡警  
一名來リテ余ニ對シ拳銃所持ノ有無ヲ數回ニ亘リ質シ如何ニモ日本  
官憲ノ調査員ニ非スヤト不審ニモ注目シ異常ノ感ヲ與ヘタリ就テ水  
壕掘穿伊通河ノ堰止水田開墾等詳細踏査シタルニ實ニ其ノ功績ハ驚  
クヘキモノテ平野三千响地ニ亘ル荒蕪地ヲ血ト汗ト熱トヲ以テ水利  
不便ナル河川ヲ二十支里ニ亘ル大水壕掘鑿シ伊通河ヲ堰止メ水利ノ  
便ヲ圖リテ堂々ト一大農場トナシ是レマテ爲スニハ不完全ナル農具

S 1.1.1.0 - 17

2003

0052

ヲ以テ竣工シタルハ專ラ熱汗苦血ノ力ニ依ルモノニシテ其ノ間支那  
官民干涉歴追ヒクトモセス専心努力シタルモノナリ、在住農民ニ對  
シ其間ノ苦勞ヲ厚ク謝シ感想ヲ聽取シタルニ農民曰ク偏ニ皆々様ノ  
御後援ニヨリ此ノ通り全部ノ完成ニハ至ラナクトモ略々竣工シタノ  
ハ御禮ノ言ヒ様モナキ次第ニシテ其間吾等ノ艱難辛苦ハ一々口ニテ  
擧ケ難ク支那官民ノ暴壓ニ死ヲ堪シ漸ク基礎ヲ作ラウトスレハ種々  
ナ理由ヲ付シテ放逐スルコトヲ例事トス、今回本農場開墾ニ際シテ  
モ地主ト土地ノ貸借契約水壕近接地ノ地主トノ協定支那官憲長春縣  
知事ニ對スル水田開墾及農民ノ居住權認可全部契約済ニテ工事ニ取  
掛リ本年ノ水稻播種期迄間ニ合セル様着々ト工事進行シ愈々完成ノ  
期ニ至リテ不法ニモ支那官憲ノ非途干涉ヲ忍ハサレル爲此ノ旨日本  
領事館ニ訴ヘタル處機敏ニモ現地保護ヲ與ヘ工事進行ニ付圓滑ヲ期

S 1.1.1.0 - 17

2004

0053

セラレタノハ實ニ永遠ニ忘レサルヘキ御恩ト思フ次第ナリ此ノ間ニ於テ支那官民ノ暴虐ハ云フマテモナク折角擱置シタル水壕ヲ約五支里程埋メ換シ尙堰止工費用ノ柳枝ヲ賣ラサルヲ以テ長春テ高價ニテ買入レ伊通河へ後流シタルヲ中途支那官憲ノ妨害ヲ受ケ三千餘東ノ柳枝ヲ全部紛失シ僅カ幾百束シカ拾ハレス之カ爲工專遲延シタル上時惡シクモ豪雨連日降り續キ河川増水シ數日開工事停頓状態ニ陥リ到底所期ノ期節迄ノ完成ハ未定ナリシモ幸ヒニ降雨止ミ漸次減水シ柳枝ハ附近ノモノヲ無理矢理伐リ取り愈々完成シタリコレ偏ニ領事館當局者ノ御處理ト朝鮮人民會幹部諸氏ノ御心盡ニ他ナラス之ニ依リ吾等農民ハ力ヲ得テ奮闘シタリ本農場ヲ以テ日支國交問題化シ目下交渉中ナリトノ事果シテ交渉如何ニ落着スルヤ實ニ不安ニ思フ希クハ最善ノ努力ヲ以テ再ヒ本農場ヲ取上ケラレル事ノナキ様祈

S 1.1.1.0 - 17

2005

0054

尙不安ニ也レ居ル事ハ所謂朝鮮獨立國テアル、愚想體ヨリハ生活ノ苦境ノ危急線ニ立テテ争フ者ニ對シ日本官憲ノ走衛強ト稱シ今同萬寶山農場經營ハ全クノ走衛的行爲ナリト脅迫文ヲ發シ現地ヲ即時引揚方殿向ニ直リ命セラレ若シ之ニ應セサル共合ハ死刑ニ處スト感命ヲ受ケ一層ノ不安ニ抱カレテ居ル様ナリ就テ住宅問題ナルカ目下ノ感全然住宅建築ノ餘望ナク冬期切迫セル今日支那人家主ハ火ノツカカ如ク明ケ渡方ヲ猛憲ニ催促シ果シテ冬期間ノ住居ヲ如何ニスルヤ苦境ニ陥チ入りタト涙ヲ流シテ居ル情況ハ人情上默視シ能ハサリキモノテ農民ニ對シ堅ク握手ヲ求メテ左ノ如ク云ヒタリ、今回實地踏査スルニ貴下等ノ受ケタ辛苦ヲ忍ヒツツ奮闘努力シタル甲斐茲ニアリテ成果シタル本農場ハ堅ク守リ將來ノ樂園地タラシメン様切ニ

S 1.1.1.0 - 17

2006

0055



望ミ引揚クル場合ハ在滿同胞百万カ逐ハレル氣遣アル 政深ク考慮シ  
 成功ヲ期スル様云ヒ諭シ農民等ト涙ノ別レヲナシ午三時印線深キ  
 萬寶山ヲ後ヘト長春ニ歸ツテ來タ、農民ノ悲壯ナル有様ト支那官民  
 ノ壓迫シタル實相ヲ見テハ悲憤ノ餘リ所懐ノ一端ヲ申述ヘムトス、  
 余ハ内地ニ於テ今回ノ萬寶山事件起リ初メテ在滿同胞ノ生活實況ヲ  
 觀ルニ事件ハ小局部ニオケル數十年來ノ支那官民ヨリ受ケタル壓迫  
 ノ一端ヲ如實ニ暴露シタルモノト思料ス嗚呼悲哉故國ノ土地ヲ離レ  
 何處ヘ行ツテモ不安ノ心ヲ抱キ居ル者カヨリ以上此ノ滿洲ノ地ニ來  
 リテ云フニモ恐ルヘキ壓迫ヲ受ケ到ル所水田開墾事業ヲナシ愈々相  
 當ノ收穫ヲ得ントスルトキハ何カノ理由ニ放逐スル處多多有之常事  
 トシテ支那官憲ハ敢行シスルニ於テハ在任同胞ハ何時生活ノ安定ヲ  
 圖ラレルヤ故國ヲ離レタル者カ滿洲ノ地ニ於テモ尙放逐サレ何所ヘ

店ヲ定メテ行カウカ全ク行詰リノ状態ナリ萬寶山ノ廣キ三千畝地ニ  
 亘ル大荒蕪地ヲ開墾水田耕作ヲナス様ノ計畫ハ夢ノ中ニモ思ハサリ  
 シ波等支那人ハ我同胞ノ血汗ヲ流シテ起工シタル農場ヲ壓迫妨害ス  
 ルハ非道極ルモノナリ、如斯ク支那人ノ想像ニモ付カサリシ大事業  
 ヲ竣工シタルハ實ニ偉力大ナルモノニ非ヤ見ヨ今ヤ我同胞農民ノ力  
 ニテ際々タル大農場ト化シ伊通河ヨリノ水運ハ長蛇ノ如ク清キ水カ  
 一面ニ注カレツアル斯ク立派ナ農場ト化セラレタル所以ハ昔日ト比  
 シ雲嶺ノ差アリ大地ヲ瀕リ上ケル時流サレタル汗ト悲憤ニ堪ヘサル  
 涙ハ正ニ本農場成果ノ基テ萬寶山農場ニ對シ何人カ干涉シ何人カ壓  
 迫ヲ加ヘヨウカ之レ人道上背ク行爲ニ非スヤ之レ正ニ支那國土ナリ  
 ト雖モ何人モ無用トスル荒蕪地ニ對シ地玉トノ契約成リテ專心完成  
 シタルモノヲ何故國土侵略ト言ヘヨウカ支那官民ノ言フ如ク他人ノ

土地ヲ無暴ニモ掘鑿シ之カ爲メ隣接地へ浸水伊道河ノ水運不便タル  
 徴々タル理由ト又ハ二十支里ニ亘ル水壕ヲ掘ルニ何故支那人カ之ニ  
 反對ノ銳鋒ヲ起ストハ實ニ不道極ルモノナリ之ヲ以テ國交問題ト化  
 シ商租權問題國土侵略等愚カナル理由ヲ附シ居ルモ母國ヨリ離レ因  
 縁深キ滿洲曠野ヲ理想ノ樂園地タルヘク只生存競争ノ此世ニ於テ食  
 フカ爲メ生ルカ爲メ辛酸ヲ甘受シ最後ノ奮闘ヲ爲シ居ルモノニシテ  
 如斯悲壯ナル我カ同胞ニ對シ國土侵略トハ何ソヤ在滿鮮人歸化トハ  
 何ソヤ何等支那ニ對シ國權ヲ侵害スルカ如キ事何一ツナキト思料セ  
 ラルノモ之カ重大視シ凡ユル理由ヲ附シ無智ナル暴壓ヲ爲シ放逐ス  
 ルハ悲憤ニ已サルナリ、要スルニ萬寶山農場ハ我カ同胞鮮農ノ血汗  
 ニヨリ成ルモノニシテ何事アリトモ永遠ニ守リ我カ農場トナスヘキ  
 モノナリ、流言トハ言へ日本官憲ニ於テ金八萬圓ノ補助金ヲ與へ經

營ヲナストノ暇ヲ支那人等カ聞入レ反對ノ聲尤モアリトノ事ナルカ  
 之レ果シテ如何、余ハ一笑ニ附シタリ、終リニ臨ミテ隣人トシテノ  
 日本ハ將又同國人トシテ斯ク成果ヲ得タル萬寶山農場ニ對シ衷心機  
 助ノ任ニアタルヘキハ勿論コノ保護ノ任ニ當リタル日本官憲ハ一層  
 コノ完成ニ至ル様盡瘁セラレ斷乎タル處置ヲ取り引渡ス事ナキ様充  
 分ノ警戒ト努力ヲナシ盡カラス交通ノ便利ヲ許ル爲メ鐵道敷設ノ  
 早カラシム事ヲ衷心ヨリ希フ次第ナリ

昭和六年八月二十五日

頁 人 社

代 表 李 東 華 編 譯

以 上

1.1.0.20-3

機密公第一八七號

昭和六年九月五日

在海龍

分館主任

松浦



男爵 齋原嘉重郎 殿

昭和六年九月二日附機密公第一五〇號

奉天總領事

宛寫送付

名件

柳河部長、鮮人対在瀋説之関る件。  
ハルカ、自ラ鮮支人ノ課不ノ事ヲ  
之利卷ヲ好誦ニ帰化ヲ勧諭ス

1.1.1.0-17

2011

0060

昭和六年九月二日

在海龍  
分館主任 松浦 興

在奉天  
總領事 林 久次郎 殿

柳河縣長、鮮人、對スル演説之関スル件

當館内、於ケル釜山並ニ鮮内事件ノ支那等、  
要シテハ七月十日附外務大臣宛機密公第一四九号  
拙信寫ヲ以テ報告置ノ通リナルカ其後客月中  
旬頃ニ至リ柳河縣城地方、於テ國民外交協會一  
味、仕事ト覺シテノ釜山並ニ鮮内事件等シ

在海龍日本總領事分館

主として排日的不穩繪ヒラフ散布シタル上排日  
鮮的演説ヲナシタルノ事件ノ内容等、就キ  
全ク無智ノ一般民衆ニ相當刺戟ヲ受ケ一部中  
心人中之鮮人、對シ不穩ノ言動ヲ漏ラテアリ鮮  
支人間ニ各種ノ謠言紛出セルヲ以テ當館ニ於テハ  
左縣々長、對シ嚴重之レカ取締方申入レ成行注意  
中、処最近同地當館ノ牒報者ヨリノ報告ニ依レハ  
客月廿七日左縣長ハ縣城附近鮮農部諸代表者  
三十餘名ヲ縣政存内ニ召集シ公安局長縣政存内科  
長級以上ノ科員ヲ主會ハシテ右謠言等、取締シ  
主として帰化問題不逞鮮人間問題等、要シテ約一時間  
ニ亘リ演説シ結テ公安局長ヨリモ謠言並不逞鮮人  
取締等ニ于テ簡單ナル訓辭アリタル趣ノ処從來

1.1.1.0 - 17

2013

S 1.1.1.0 - 17

2012

0061

縣知事ノ朝鮮人代表者ヲ集メテ施政ノ一斑ヲ歸化問  
題等ニ對シテ意見ヲ公開スルカ如キハ其前例ニ若シキ  
次第ニシテ右ハ令賜長ノ朝鮮人問題ニ對スル態度ノ  
一斑ヲ窺知シ得ルニ思料セラルベシ付別紙演說要  
旨添付何等御參考ニ送報告ス

本信屬送件先

外務大臣

在海龍日本總領事分館

0062

2014

S 1.1.1.0 - 17



柳河郎長濱説要旨

私に早き諸君と懇談せしと思つたが、着任後日決り  
其上諸事多端となり、其ノ意ヲ得ス漸ク、昨日御集りテ  
願フタ以第カシ

御集りテ願フタハ、餘事ナリ、近頃陛下に於テ使らるる宮山  
事件、此イテハ朝鮮事件ト頻繁ニ兩國ノ間ニ音シカラヌ  
事故發生シ當録ニ於テモ中の人々朝鮮人ト對シ何等カ報  
復手段ヲ出デントノ目論見アル旨ヲ聞知セルモ右ハ誠ニ穩  
カナラシトテアル之ニ一部不良分子ノ流言ト過ヤラト私ハ  
信ス我カ中亦並ニ日本朝鮮等ハ共ニ同文同種ノ親シ  
キ間柄ガアリ、殊ニ今回南支ニ於テ水害ニ於テ日本政府  
ハ莫大ニ救済金ヲ下セ且朝鮮事件ニヨル被害者  
モ見舞金等ヲ下セタ一方中亦ハ東京震災ノ時少  
シ許リノ見舞金ヲ送ツタト云フノハ何ト甚固ガルカヤハ皆  
親密ノ真心カラ出テタノデアツテ向ハハ切レナイ仲  
テアル

在海龍日本總領事分館

諸君ハ萬宝山及朝鮮事件ニ何等關係ノアル人達ヲ  
ナイ一家ノ中ニ於テスラ或ル時ハ争ヒカアルニ増セラ大國家  
ヲス込山ノ人、其間ニハ日常小サナ事件カ起ルノハ當然  
テアル

又ト同シ朝鮮及萬宝山事件ハ實ニ小サナ地方的事  
件デアリテ我々ガ之ヲ對シ何レ彼レヲ伊要ハナイ柳河郎ハ  
柳河郎ハ皆同心一徳トシ仲良ク夫々ノ仕事ヲ盡セハ日  
イノテアル諸君モ輕率妄動ナク權ヲ慎ミ度一方我國  
人ト對シテ輕率妄動ナク權ヲ嚴達シテアルカラ以後ハ相  
互諒解ノ無キ様安心シテ家業ヲ勤メテ家ヲ歸ラレタ

S 1.1.1.0 - 17 2016

S 1.1.1.0 - 17 2015

0063



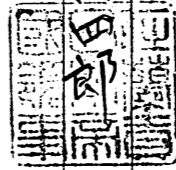
蘭貢第...

蘭貢第...

昭和六年九月三日

在蘭貢

領事館事務代理 加納



外務大臣男爵 幣原喜重郎

a b

在鮮中國人道害事件、当地方

ハ及ホセル反響ニ関スル件

八月十日附蘭貢第一六三號往信ニ附シ

当地國民党總支部一組織ニ係ル甲乙兩

班一反日宣伝隊ハ其後屢々反日講演會

ヲ催シ又中國新聞紙ハ何レモ相乘ニス誇張

昭和六年九月三日



S 1.1.1.0 - 17

2019

0065

CII

的排日記事ヲ掲載シ居ルニ一般華僑側ノ  
 態度ハ引續キ冷靜ニテ顯著ナル反響ヲ  
 謀メラレセル要他方当地船舶事業利商側  
 ノ懸念所ニ依リ過般当地華僑米穀商側  
 カ日本船舶ニ中國本土向貨物ヲ登載セサル  
 事トテ決議セルニ七月廿日附蘭貢第一四四號往  
 信参照(中國荷主側一結束ハ最近ニ至リ其  
 ノ足並乱レ中國向貨物一積載契約方ヲ申  
 シ込ニ来ルニ續出シ当港一寄港スル本邦船舶  
 ハ何レモ其ノ帰航ニ上海方面向米穀ヲ千噸  
 乃至十噸宛登載シツルニ趣ニテ之ニ就キテ  
 見ルニ当地華僑側一反日情勢ハ一般ニ漸次緩  
 和セシツルニ至ル如ク觀測セラル

S 1.1.1.0 - 17

2020

0066

REEL No. A-0065



アジア歴史資料センター



因ニ当地中国紙、仰光日報「八月廿三日附  
紙上ニ「日皇捐賑吉国水災」ト題シ「萬葉發  
後、中日感情破裂、已至極葉可挽回之地。不料  
於此努力相向之際、竟有日皇捐賑吉国水災之  
榮、寧不使人受寵若驚、然而此舉、極事所  
恒有、前此日本震災、吉国人固曾有互相之賑  
濟、日皇此舉、殆亦出於禮尚往來之故耶？抑  
有見於反日風潮汹涌、而思施惠緩和之也、惟是  
賑災非外交、蹇然兩事、使日皇此舉、係出於  
救災恤鄰之善意、則吉人當敬而謝之、然而謝  
之之後、對於萬葉及朝鮮慘案之態度、決不  
因而轉變、如欲用以緩和反日風潮、則已混賬  
矣、外交為事、吉人亦只有笑而却之而已」ト

CII.

S 1.1.1.0 - 17 2021 0067

社説ヲ掲ケタリ  
右報告申進ス

CII.

S 1.1.1.0 - 17 2022 0068



外務省 第三三七一號

昭和六年九月三日

警視總監 高橋守雄

昭和六年九月四日 接附



内務大臣 安達謙藏 殿  
外務大臣 野澤原喜重郎 殿

京都、大阪、神奈川、  
愛知、兵庫、福岡、長崎、各府縣知事 殿  
関東、朝鮮各警務局長 殿

萬寶山事件ニ関スル反日宣傳物

配布ノ件

首題ニ関シ八月八日外秘第二一七六號、既報  
ノ處更ニ別記内容ノ如キ上海所在日本研究社  
ノ名ヲ以テ「萬寶山事件及朝鮮慘案」ト題スル  
宣傳印刷物ヲ在京民國留學生間ニ郵送配布

アリタリ

右及申(通)報候

S 1.1.1.0-17

2024

S 1.1.1.0-17

2023

0069

中華民國二十年八月八日發行  
 萬寶山事件及朝鮮慘案  
 (發行者) 上海白克路二十三號  
 日本研究會  
 本部所在地 南京高樓門玄武里二弄四號  
 (四六版七十六頁 支那文)

口絵寫眞十六葉

- 一、萬寶山附近の略圖、
- 一、慘案突發前の平壤市街、
- 一、中國領事館前に避難の華僑、
- 一、破壊さるし京城の華僑食堂、
- 一、仁川内里一八九番地日増祥吳服店掠奪の跡、
- 一、仁川市役所前の避難華僑、

- 一、破壊さるし仁川内里華僑商店の慘狀、
- 一、及物で作った防禁網、
- 一、警察署に避難の華僑、
- 一、破壊さるし華僑商店、
- 一、避難僑民仁川華僑學校にて立ち食む、
- 一、平壤醫學會講習所内に避難の華僑、
- 一、破壊さるし平壤の華僑商店、
- 一、領事館内の負傷避難民、
- 一、朝鮮暴徒に撃殺さるし僑胞の屍體、
- 一、悲慘、累々たる僑胞の屍體、

目次

- (一) 緒言、
- (二) 萬寶山事件、

S 1.1.1.0 - 17 2026

S 1.1.1.0 - 17

2025

0070

- (1) 事件の起因、
- (2) 衝突の経過、
- (三) 外交當局の抗議と日本政府の逃避、
- (四) 在鮮華僑慘殺さる、
  - (1) 朝鮮各地に於ける華僑慘殺實記、
  - (2) 日本は万寶山事件に口弁を藉り鮮人を煽動せり、
- (五) 朝鮮事件後の覺悟、
  - (1) 在上海韓國臨時政府華僑慘案に對し聲明書と發表、
  - (2) 在上海鮮人各團體日人の奸計に陥るなかりと本國民衆に電告
- (3) 朝鮮日報長春支局新聞記者鮮人金利三の謝罪聲明書、
- (4) 韓族同盟会の正式聲明書
- (六) 京城全鮮民衆團體聯合會の來電、
- (七) 我國民精神の發露、
  - (1) 及日援僑会の組織
  - (2) 對日經濟絶交案示
- (七) 中外の輿論、
- (八) 結 論

(目次了)

S 1.1.1.0 - 17

2028

S 1.1.1.0 - 17

2027

0071

朝鮮高麗第四〇二八號

昭和六年九月三日

關東廳 警務局長

昭和六年九月三日 接受

0072

|    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 在在 | 滿 | 關 | 關 | 哈 | 開 | 朝 | 內 | 外 | 內 | 拓 |
| 北支 | 東 | 東 | 東 | 爾 | 島 | 省 | 務 | 務 | 務 | 務 |
| 平各 | 駐 | 憲 | 憲 | 吉 | 奉 | 天 | 警 | 警 | 警 | 警 |
| 朝  | 海 | 兵 | 憲 | 各 | 務 | 保 | 次 | 記 | 次 |   |
| 鮮  | 軍 | 隊 | 謀 | 總 | 局 | 局 | 官 | 官 | 官 |   |
| 派  | 課 | 武 | 長 | 領 | 長 | 長 | 官 | 官 | 官 |   |
| 遣  | 官 | 官 | 長 | 事 | 長 | 長 | 官 | 官 | 官 |   |
| 員  | 官 | 官 | 長 | 事 | 長 | 長 | 官 | 官 | 官 |   |
| 殿  | 殿 | 殿 | 殿 | 殿 | 殿 | 殿 | 殿 | 殿 | 殿 | 殿 |

Handwritten notes in Japanese, including '朝鮮高麗' and other illegible characters.

1.1.1.0 - 17 2029

不逞關韓國韓一黨ノ不穩宣言書郵送

最近奉天城內各方面ニ對シ左記ノ如キ韓國韓一黨ノ不穩宣言書ヲ郵送シ來タレルカ同黨ハ在北平不逞韓人團體ナルモノノ如ク同地ヨリノ情報ニ依レハ從來北平在住不逞韓人團體ハ韓族同盟會ヲ中心トシテ活動シ來タリタル處派兩性ニ當メル彼等ハ遂ニ曹成煥派ト李天民派トノ兩派ニ分裂シ李派ハ之カ爲在滿不逞關國民府革命黨ト連絡シテ韓國革命黨特別第一支部ヲ設置スルト共ニ一般韓人ノ自衛團ヲ組織シ曹派ニ對抗セムトシタルカ曹派ハ一味ノ阿片強奪事件ヨリ内訌ヲ生メル外立場種メテ不利ノ狀況ニ向ヒツツアリタル折柄一味中ニ豫テ日本側密偵ノ嫌疑者アリシタメ遂ニ同人ヲ殺害シテ局面打開ノ犠牲ニ供シ韓國韓一黨ノ名目ヲ以テ宣布文ヲ發表シ同時ニ一中不正營業者諸君ニ警告スルナル印刷物ヲ配布シタル趣ニ付遺問ノ不穩宣言書

0073

1.1.1.0 - 17 2030

送モ同不赴國一時ノ所爲ニ外ナラスト認メラルル點アリ御參考迄  
記

中國國民政府各省市政府革命同志及一般民衆鈞鑒

今ノ所謂帝國主義者カ人國ニ禍毒ヲナス其ノ術策ハ一ナラスンテ或  
ハ強權ヲ以テ壓迫スルコト狼虎ノ如ク或ハ詭計ヲ弄ヒテ暗ニ鬼域  
ヲナスコト實ニ蓄勝ニ極ヘス噫彼強盜日本カ世界五強ノ一ニ列シテ  
以來其ノ強暴ノ力詐欺ノ術ヲ以テ韓國ヲ併呑シ臺灣ヲ割據シ滿蒙ヲ  
占領シテ帝國主義ヲ恣ニシテ東亞ノ和平ヲ破壞シ人道ヲ背セ  
ルコトハ實ニ韓國民族カ不具戴天ノ襟ナルノミナラス抑モ亦中國四  
億萬同胞ノ公敵ニシテ世界人類ノ公敵ニシテ實ニ忍フ可クモアラス  
彼レ猶モ飽キ足ラスシテ動モスレハ積暴ニ出テ萬貴山事件ニハ草薶  
ヲ派シテ積合ヨリ壓迫ヲ加ヘ捏造宣傳ヲ爲シテ韓人ノ無識份子ヲ煽

S 1.1.1.0 - 17 2031 0074

動セシメテ空前絶後ノ排華慘案ヲ釀成シ中韓民族ノ惡感ヲ發生セシ  
メテ暗ニ中國民族ヲシテ東省在住ノ韓僑ニ對シ報復手段ニ出テシメ  
然ル上之ニ名ヲ繕リ東省ニ出兵シテ其ノ所謂大陸政策ヲ實行セント  
ス其ノ奸謀詭計ナルコト驚クノ外ナシ而シテ又復強劣ナル手段ヲ弄  
シ韓人ノ不逞ノ徒ヲ利誘シテ之ヲ手先トシ之ヲ商人ニ扮裝セシメテ東  
省及 北支那一帶ニ潛入セシメテ暗ニ獨立黨ノ暴動ヲ採リ傍毒物モ  
ルビネ、ハロイン類ヲ販賣セシメテ民衆ニ流毒ヲ及ホシテ金幣ヲ販  
收ス中極當局ハ嚴重交渉シツツアリト雖モ詭辯ヲ弄シテ匪ヲ指シテ  
馬トナシ而モ其ノ手先奸商輩ヲ善良份子ナリト稱シ反テ眞直ノ革命  
同志ヲ誣ヒテ強盜暴徒共産黨ノ名ヲ以テシ直接間接ニ吞嚼ノ計ヲ施  
シ居レリ本黨部ハ之ヲ忍フ能ハスシテ今回嚴厲ノ手段ヲ取ルコトニ  
決シ先ツソノ走狗輩ヲ撲滅シ奸商ヲ驅逐シテ彼ノ計畫ヲ阻止セント

S 1.1.1.0 - 17 2032 0075

スルモノナリ此レ實ニ正當自衛ノ舉ニシテ亦中國治安上ノ一大危害ヲ捍禦セントスルモノナリ故ニ何時何地ヲ問ハス至急實行スヘキ豫定ナルニ付望ムラクハ中國黨政各界ニ於テハ切實ニ之ヲ諒解シテ之ニ聯絡提携シ以テ韓國ノ獨立ヲ完成シ中國々權ヲ鞏固ニシテ日本帝國主義ヲ打倒シ東亞ノ和平ヲ實現セシムルナラハ韓國ノ幸甚中國ノ幸甚ナリ

- 一 民族自決主義ヲ以テ韓國ノ獨立ヲ促成スヘシ
- 一 切實ニ中國革命同志ト聯絡スヘシ
- 一 世界ニ於ケル被壓迫民族ト聯合スヘシ
- 一 日本帝國主義ヲ打倒スヘシ
- 一 不良鮮人ニシテ日本ノ手先トナリ居ルモノヲ撲滅スヘシ
- 一 毒物ヲ賣買セル奸商輩ヲ驅逐スヘシ

韓國韓一黨特務部

以上

S 1.1.1.0 - 17

2034

0077

S 1.1.1.0 - 17

2033

0076

寫送先

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官  
大臣

電信課長

分類 1110.20-3)

昭和6 一一八九七 略 華府 四日後發  
本省 九月五日附着 亞

幣原外務大臣 出淵大使

第一九七號

三日紐育「タイムス」北平特派員「アーベン」(下)「ハ萬寶山及朝鮮兩事  
件ニ關スル在北平奉天當局ノ言分ヲ其儘打電スルト共ニ一奉天要人  
ハ國際聯盟ヲシテ代表者ヲ滿洲ニ派遣シ日支間ノ諸紛争ヲ徹底的ニ  
調査セシムルコトニ大賛成ナリト聲明セル趣電報シ居レリ御參考迄

外務省

S 1.1.1.0 - 17

2036

0079

記

機密

公 信 案

外 務 省

御參考ノ爲別紙送付ス

昭和六年八月二十五日附在東京館來(往)電機第百七十九號寫並附屬書寫

|                     |       |       |       |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 件名                  | 人名    | 受信    | 發信    |
| 鴨綠江上流中野人勦掃<br>ニ關スル件 | 堀切 次良 | 堀切 次良 | 永井 次良 |
| 綴 込 名               | 日 附   | 附 屬 書 | 通     |

主 任 主 任  
亞細亞局長  
機密 第八七一號  
大正 昭和六年九月廿一日  
淨書 多卷  
正校(原稿) 淨書  
別紙 (甲 號 用 紙)

S 1.1.1.0 - 17

2035

3 123

0078



附屬書類

公信第一〇八七號

昭和六年九月七日

在上海

總領事 村井倉松

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

「萬寶山事件及朝鮮慘案」ナル冊子  
送付ノ件

南京ニ本部ヲ置キ當地ニ事務所ヲ設ケ居ル日本研究會ノ發刊ニカ、  
ル「萬寶山事件及朝鮮慘案」ナル冊子一部御參考迄ニ別添ノ通り送  
付ス

本信寫送付先 在華公使 奉天 長春 南京

別紙添付

昭和六年九月十五日

0080

外務省  
外務第二四。一號

昭和六年九月八日

警視總監 高橋 守雄



昭和六年九月九日 接受



大田

内務大臣 安達謙藏殿

外務大臣 幣原喜重郎殿

北海道 京都 大阪 神奈川 愛知 兵庫

福岡 宮城 長崎 千葉 岡山 廣島

各廳府縣長官殿

萬寶山事件ニ関スル反日宣傳物  
配布ノ件

首題ニ関シ九月三日外務第二三七一號、既報ノ如更ニ  
別記譯文ノ如キ中國國民黨第五師特別党部ノ名

ヲ以テ「万寶山及朝鮮慘案ノ真相」ト題スル宣傳印  
刷物ヲ在京民團留學生間ニ郵送配布アリタリ  
右及申(通)報候

1.8 1.1.1.0-17

2038

S 1.1.1.0-17

2037

0081

萬寶山及朝鮮慘案の真相

驚天動地の萬寶山慘案及空前絶後の朝鮮慘案が突發してから已に月餘になるが其間我政府は日本帝國主義に對し幾度か交渉を導いたが今尚何等解決を見るに至らない、依つて我等は最後まで一致奮起して對日經濟を實行し及日運動を擴大し政府外交部の後盾となり謝罪、賠償、保障等の目的を達成するまでは徹底的に初志の貫徹に邁進せねばならない、尤に今回の慘案經過情況及其首魁たる日本帝國主義の真相を略述してみる

今慘案の經過概略 (省略)

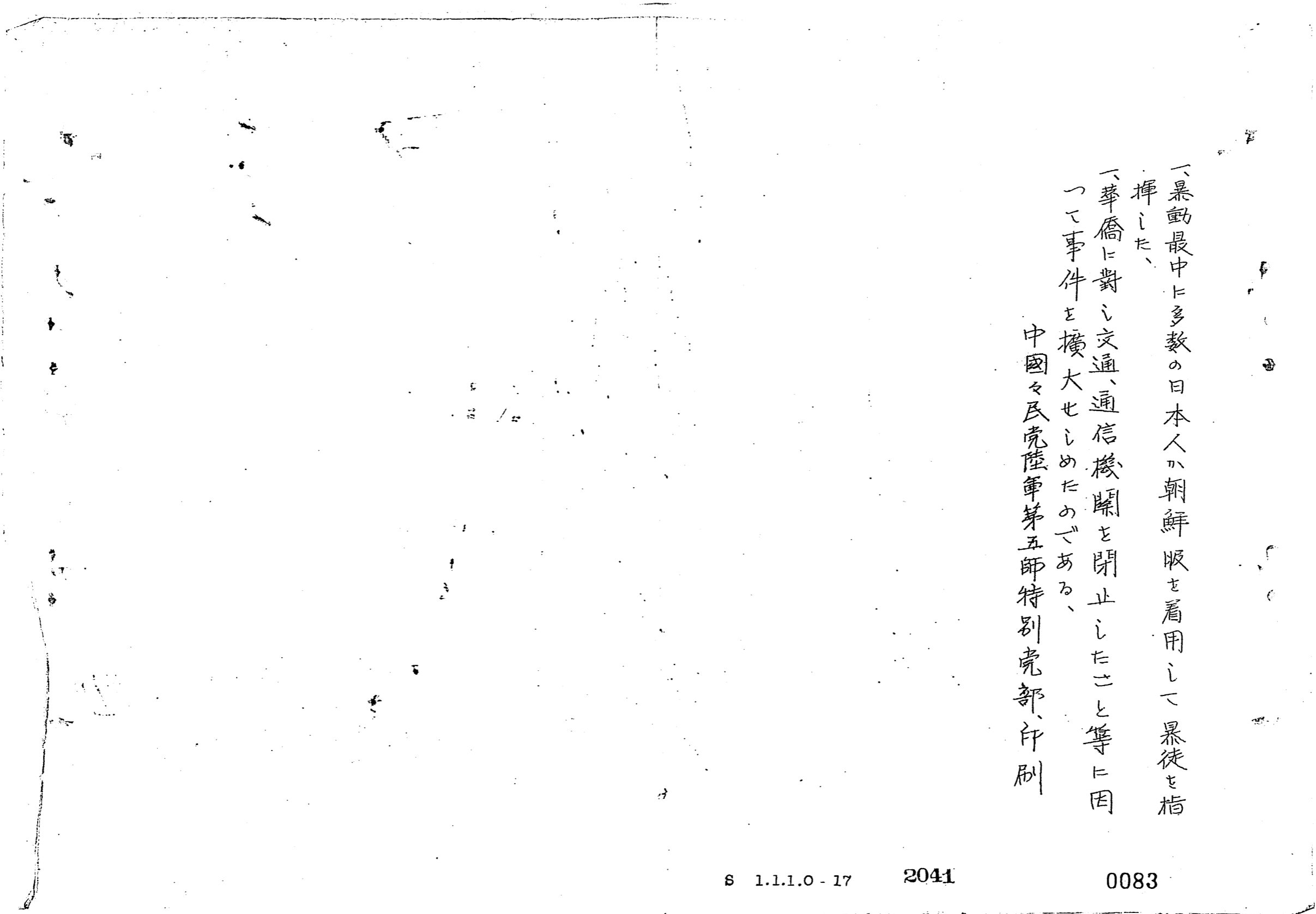
今慘案發生の遠因

日本の對支政策は始終一貫せる南侵、北進政策で所謂南侵政策とは海洋政策を以て台湾を根據地とし我長江流域及福建、廣東一帶に侵略するものであり又北進政策とは大陸政策を指し朝鮮、關東洲を根據地として我北支及滿蒙各地を侵略するものである之は明治以來の日本帝國主義の傳統的一貫せる對支政策であり今回の慘案突發の主因は日本が其大陸政策を緊密にした結果である (後略)

日本の今慘案を主持せし確証

一、日本は鮮人の暴動を事前防止せず且數日に亘る暴動を充分に取締らなかつた、  
二、萬寶山慘案突發に際し日本政府は暗に煽動的訓電を發した

一、朝鮮各地の日本新聞は萬寶山慘案に關し事實を捏造した誹外を發し謠言を飛はしたか總督府は何等之を取締りを講しなかつた、



一、暴動最中に多数の日本人が朝鮮服を着用して暴徒を指  
揮した、

一、華僑に對し交通、通信機關を閉止した事等因  
つて事件を擴大せしめたのである、

中國々民党陸軍第五師特別党部印刷

S 1.1.1.0-17

2041

0083

REEL No. A-0065

0060

アジア歴史資料センター

分類 A/1.0.20-3)

(票 合 照)

國機百思第二五一四號ニ

昭和六年九月八日

記録件名

東京市農務事件  
無神多田園地相

發信者 園東 行野吉司長

一 受信者 行野吉司長

件名 東京市農務局 行野吉司長 宛 報告書 第五号

原書ハ A.3.4.0.2-16.

東京市農務局 行野吉司長 宛  
報告書 第五号

ニ在リ

S 1.1.1.0 - 17

2042

0084

大臣  
次官  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
人文  
人文  
會計

電信課長

寫送先

(分類 1.1.1.0.20-3)

昭和6 一三二二四 平 福知山 九日後發  
本省 九月九日後着 亞  
幣原外務大臣 京都府福知山 滿蒙問題後援會參會者  
五千名  
滿蒙ニ於ケル我特殊權益ノ擁護ハ現下喫緊ノ要務ト認ム速ニ國策ヲ  
確立シ之ニ善處セラレシコトヲ要望ス

外務省

S 1.1.1.0 - 17 2043 0085

原書  
D2.6.0.321  
中村大尉遭難事件  
英論並新報論  
ニ在リ

寫

(分類 1.1.1.0.20-2)

昭和6 一三一七〇 略 莫斯科 九日後發  
本省 九月十日後着  
幣原外務大臣 廣田大使  
第三九四號  
往電第三九一號ニ關シ  
九日ノ「イズヴェスチヤ」ハ本件ニ對シ短評ヲ加ヘ英米資本カ滿洲  
ニ進出セントスル爲日本帝國主義者ハ滿洲ニ於ケル經濟上政治上ノ  
優越權ヲ確立セント焦燥シツアリ同國新聞紙ハ自國官憲ノ行動ニ  
起因シテ發生セル萬寶山事件ヲ日本臣民ニ對スル攻撃ナリト爲シ居  
レリ日本帝國主義者ハ滿洲進出準備ノ爲一方多數軍隊ヲ關東州滿鐵  
附屬地及朝鮮へ派遣スルト共ニ他方北支那ニ於ケル軍閥戰ヲ極力激

外務省

S 1.1.1.0 - 17 2044 0086

寫送先

會文人情條通歐  
計書事化報約商米

次大臣  
亞細亞

電信課長

(分類) 1.1.0.20-3

化セシメツツアリ中村大尉ノ殺害事件ハ更ニ日本ニ對シ公然滿洲ニ  
進出スルノ口實ヲ與ヘタリ同大尉ハ白黨露國人其他數名ノ助手ト共  
ニ用兵上重要ナル興安嶺方面ヲ所謂一個人ノ資格ニテ旅行セルモノ  
ニシテ支那兵ニ殺害セラレタリトモ云ヒ土匪ニ殺サレタリトモ云フ  
本事件ハ他ノ場合ナラハ左迄重大視セラレサリシナランモ時恰モ日  
本カ滿洲進出等ノ計畫ヲ有スル爲滿洲占領宣傳ノ材料ニ使用セラレ  
居レリ日本人ノ一部ハ全滿洲ヲ占領スヘシト云ヒ一部ハ滿鐵ノ競争  
線ヲ奪取スヘシト主張シ居レリ斯ノ如ク滿洲ニ發展シツツアル事件  
ハ日本ノ侵略慾カ益々旺盛トナリ居ルコトヲ反映スルモノナリト論  
セリ

(添付紙)

外務省

S 1.1.1.0 - 17 2045 0087

高宮山農務課  
新聞論調

昭和6年11月27日 略

南京 十一月後發  
本省 九月十一日後着

亞

幣原外務大臣

上村領事

第五三六號

十一日ノ中央日報ハ十日蔣作賓ノ談トシテ大要左ノ通り報道セリ  
余ハ本夜出發先ツ北平ニ赴キ張副司令ト會見シ一兩日滞在ノ上朝鮮  
ニ向ヒ蔣主席ヨリ交付セラルル現金二萬元ヲ以テ避難華僑ヲ撫恤シ  
同時ニ國民政府ヲ代表シテ避難者遺族及失業華僑ヲ慰問シ二十日頃  
日本到着ノ豫定ナルカ近來中日兩國國民ノ感情頗ル疎隔シ萬寶山事件  
ノ如キモ日本側ノ宣傳ニ依リ遂ニ朝鮮事件ヲ惹起シタルカ中村事件  
モ我方ノ切實ナル調査ニ依レハ毫モ證據ナク而モ日本新聞ハ激越ナ

外務省

S 1.1.1.0 - 17 2046 0088

REEL No. A-0065

0065

アジア歴史資料センター

ル字句ヲ以テ宣傳ヲ擴大シ日本國民ノ暴動ヲ煽ラントスルハ誠ニ不幸ナルコトナリ余ハ日本到着後先ツ朝鮮（脱<sup>?</sup>）ノ人士ニ充分説明シ以テ日本民衆カ真相ヲ了解シ再ヒ意外ノ事件ヲ發生セシメサル様シタキ考ナリ尙朝鮮事件ノ交渉ハ南京ヲ中心ニ行フコトニ決定シ居レリ云々

委細公信

支、北平、奉天へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0 - 17

2047

0089



逓信部  
關機高鮮第四一八一號ノ二



昭和六年九月十二日

昭和六年九月十七日

逓信部局長

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 拓  | 内務 | 外務 | 内務 | 陸軍 | 海軍 | 逓信 | 農林 | 商工 | 教育 | 文部 | 司法 | 逓信 | 農林 | 商工 | 教育 | 文部 | 司法 | 逓信 | 農林 | 商工 | 教育 | 文部 | 司法 |
| 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 | 次官 |

敦化外交後援會農林農務協議會開催

S 1.1.1.0 - 17 2048 0090

(滿鐵情報)

敦化外交後援會ハ七月三十日縣城商務會ニ農工商學會有志約五十名ヲ召集シ陳外交後援會長ヨリ萬寶山及朝鮮事件ヲ報告シタル上朝鮮事件ノ報復手段トシテ左記決議ヲ爲セリト謂フ

記

- 一 萬寶山及朝鮮事件ノ真相ヲ詳記シタル宣傳文ヲ印刷シ之ヲ縣民ニ配布シ輿論ヲ喚起スルコト
- 二 萬寶山及朝鮮事件ハ日本カ滿蒙侵略政策實行ノ樞會ヲ捉ヘンカ爲鮮人ヲ利用シテ爲サシメタルモノニ付此際各地外交後援會ト呼應シ日貨排斥對日經濟絕交運動ヲ起スコト
- 三 朝鮮事件ニ關シテハ在滿華國民外交後援會ニ打電シ中央政府ヲ鞭撻シテ嚴重ナル抗議ヲ爲サシメ日本政府ヲシテ速ニ被害者ノ遺族ニ對

S 1.1.1.0 - 17 2049 0091